

商工 かこがわ

The Kakogawa Chamber of Commerce and Industry



特集 商工会議所、こんなふうに使われています



Webでもご覧ください。商工かこがわダイジェスト版



■ クローズアップ
加古川商工会議所青年部
楽市運営委員会

■ エッセイ
(同)Natural work(Relax&School TETE)
代表社員 高橋 優 さん

こんな場面で使われています：経営サポート編



創業サポート

創業計画書の作成や開業手続き、初めての融資相談など、「何から始めていいかわからない」という方を丁寧にサポートしています。開業を目指す方・開業して間もない方、経営者同士のつながりが欲しい方などを対象に、「創業塾」というセミナーも毎年開催しています。（※今年度は終了）



グループワークで意見交換する様子（創業塾）



担当者より

頭の中にあるアイデアを、計画書に落とし込むお手伝いをします。

創業塾では同じ志を持つ仲間もできたりします。一人で悩まなくて大丈夫ですよ。

マーケティングやマネジメントの勉強は初めてで、とても面白かったです。

また、同世代の同じように起業を目指している方とお話ができ、頑張ろうと思えました。



創業塾参加者の声



担当者より

「これで合っているかな？」という不安を解消するため、毎年多くの方が相談に来られています。



税務相談・確定申告相談

決算書の見方や確定申告書類（白色・青色）の作成支援など、主に個人事業所に対する相談体制を整えています。

記帳の仕方や従業員の源泉徴収に関することなど、初めての方でも安心してご相談いただけます。



専門家相談

弁護士・税理士・社会保険労務士など、専門家による無料専門相談を実施しています。

契約に関する法律トラブルや労務管理、特許申請など専門的なお悩みに個別でお答えします。

中小企業診断士による「個別経営相談会（※）」も実施中！



無料専門相談の開催日程は上記QRコードからご確認ください。
※個別経営相談会の開催日程については、巻末の会議所カレンダーをご確認ください。

商工会議所、こんなふうに使われています

事業を続けていると、ちょっとした疑問や不安が出てくるものです。「誰に聞けばいいんだろう…」「こんな相談でもいいのかな…」そんな時こそ、商工会議所を活用ください。

商工会議所は創業の相談、税務の不安、人材育成、会員同士の交流など事業のあらゆる場面で活用できます。今回の特集では実際にどう使われているのか、リアルな声とともにお伝えします。

商工会議所の主な役割



創業サポート

創業の準備や事業計画書づくりと一緒に考え、スムーズな創業を支援します。



補助金・融資相談

補助金の申請書や要件確認、制度融資や公的融資のご紹介と計画書の作成を支援します。



税務相談・確定申告

決算書の見方や、個人事業主の日々の記帳や確定申告のお手伝いなどの支援を行います。



会館利用・各種サービス

貸会議室の貸出しや、共済制度やセミナーなど、事業に役立つ各種支援を行っています。



会員交流・地域振興

青年部・女性会・異業種交流会・部会などの活動を通じて、新たな人脈づくりを支援します。



提言活動

会員の皆様の声を国・県・市などへ提言し、政策・施策に反映するよう要望しています。

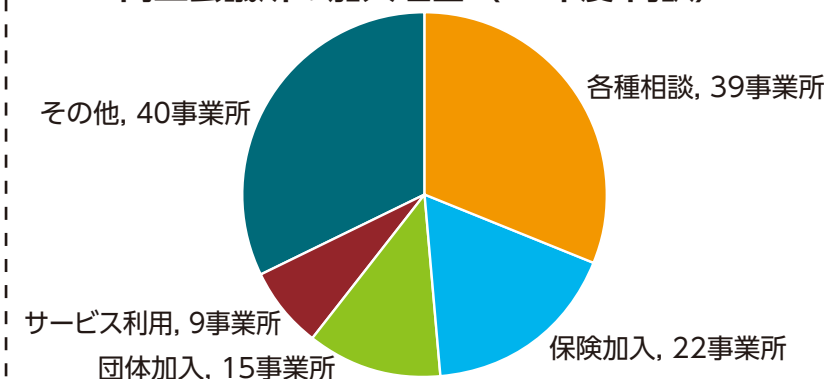


まずは気軽に相談ください。
内容がまとまっても大丈夫です！

商工会議所への加入理由

昨年度（R7年度）に加入いただいた125事業所のうち「創業相談」・「税務、融資相談」・「補助金相談」等の各種相談をきっかけに入会された方が全体の約3割を占めました。

商工会議所の加入理由（R7年度 内訳）



こんな場面で使われています：地域振興・交流編



地域イベント・地域活性化の取り組み

商工会議所では、地域の魅力を発信し、街を元気にする多彩なイベントを開催しています。



加古川楽市（青年部）

地元企業を知っていただく「商工祭」。飲食・会員紹介ブースの出店もあり、毎年多数の来場者で賑わっています。



靴下まつり（女性会）

地場産業である靴下産業をPRする大好評の即売会。女性会メンバーによる「チャリティーバザー」も大人気。



高校生のための企業見学会

地元企業の魅力を伝え、将来の進路選択をサポート。実際に就職に繋がったケースも。今年度の様子はP11で！



会員交流の場

青年部・女性会・異業種交流会など、目的に応じた団体活動に参加することで幅広い人脈を広げることができます。

また2市2町（加古川・高砂・稲美・播磨）の商工会議所・商工会の会員が集まる「会員大交流会」では多くの会員事業所と名刺交換、ビジネス交流ができます。（R7年度実績 99事業所142名参加）

今年度は9月15日（火）に開催いたします！

普段出会えない異業種の方と名刺交換し、取引先の開拓や商談に繋がったというお声も頂いています。



会場のあちこちで名刺交換が進む様子（会員大交流会）



大交流会担当者より

気になること、聞いてみたいことがあれば、お気軽にご相談ください！

こんな場面で使われています：人材育成・福利厚生編



人材育成・福利厚生

企業の成長を支える「人財」を育てるための各種セミナーや、従業員が長く安心して働ける福利厚生に役立つ各種制度も、多くの会員企業で活用されています。

【人材育成】

- ・新入社員セミナー（4月・10月開催）
- ・Webセミナー（会員限定で無料視聴!）
- ・サイバーセキュリティセミナーなど事業に役立つ各種セミナー

【福利厚生】

- ・会員交流バス旅行・ボウリング大会（バス旅行については今月号で募集開始!）
- ・会員事業所 健康診断
- ・優良従業員表彰式
- ・特定退職金共済制度



新入社員セミナー参加者事業所の声

小規模の企業では自社内の研修だけでは不足するので、とてもありがたい。毎回とても感謝しています。



会員交流ボウリング大会参加者の声

ボウリングは気分転換にもなりますし、会社の仲間とチームでワイワイ盛り上がるのが本当に楽しいです。



貸会議室



会員特典：貸会議室の利用料金が通常の20%OFF

展示会・講演会・社内研修・採用面接など、幅広い用途でご利用いただける会議室をご用意しています。プロジェクター・スクリーン、放送設備など有料貸出可能な備品もございます。



各種展示会や大規模セミナーに！



講演会・講習会・会議等幅広い用途で利用可！



少人数の会議や商談等に最適！

1 F 展示ホール（A+B）

広さ：82坪（A:54坪+B:28坪）
備品：机100本、イス200脚

B 1 中会議室

広さ：28坪（定員：38名）
備品：机20本、イス38脚

B 1 特別室

広さ：9坪（定員：12名）
備品：四角形固定テーブル、イス12脚



今年の商工祭は “丸一日、遊び尽くす日”です！

毎年多くの来場者で賑わう「商工祭 加古川楽市」。1日限定開催となる今年は10月17日(土)に加古川市役所前広場で開催されます。「凝縮された最高の一日」を目指して企画に取り組んでいる楽市実行委員会の皆さんにお話を伺いました。(イベント詳細は、10月号の挟み込みチラシもご覧ください。)

1日開催ならではの楽しみ方
—テーマは「Dive to Next」—

今年の商工祭「加古川楽市」は、これまでの2日開催から1日開催へと変更いたしました。開催時間は午後8時まで延長し、昼から夜まで丸一日楽しんでいただけるよう準備を進めています。今年のテーマは「Dive to Next」です。昨年度の原点回帰を経て、さらに一步先へ進むという思いを込めました。毎年来場いただいている

る方にも、初めて訪れる方にも楽しんでいただけるよう全力で企画を練り上げています！

新企画の体験型イベントで、 地元の魅力を知って・楽しむ

今年も商工祭としての体験型企画をご用意しています。特に注目していただきたいのが、企業紹介ボードを使った参加型イベントです。

専用アプリを使い、ランダムに指定された地元企業をボードから探し当てると、イベント専用コイン「YEGチップ」を獲得できます。楽しみながら地元企業を知っていただける、新しい体験型の企画です。集めたチップは「任天堂Switch2」等の豪華景品や地元特産品が当たる抽選くじに交換できます。

また、小さなお子様とご家族で楽しめる「但陽信用金庫 presents らくキッズ縁日」も初登場します。今年100周年を迎える但陽信用金庫さんにご協力いただき、釘打ちチャレンジやキノコ計測など青年部メンバーの職種にちなんだブース、さらに地元学生が考案したブースも並びます。体験するとYEGチップが増えますので、

ぜひ楽しんでみてください。

昼も夜も盛り上がるステージ イベント&各ブース出店

ステージイベントは2部構成になり、第1部ではダンスや音楽、地元保育園の発表など、幅広い世代の皆さまに楽しんでいただけるプログラムを予定しています。第2部では、吉本芸人の吉田裕さんのお笑いライブや、ガガガSPによるスペシャルライブを予定し、1日開催だからこそ実現できた「濃密なステージ」になっています。

会場には、地元企業を中心に飲食・物販ブースが約25店、企業紹介ブースが約20店並び、かつめしや恵幸川ラーメンなど地元グルメも充実しています。子どもから大人まで、食べて飲んで楽しめる一日になると考えています。これらのブースは、加古川を支える企業の皆さまにご協力いただいたもので「こんな素晴らしい企業が地元にあるんだ」と感じてもらえれば嬉しいです。加古川市内でイベントが増える中、歴史ある商工祭を未来へつなぐために、青年部の熱い思いを込めて準備を進めております。皆さまのご来場を心よりお待ちしております！

加古川商工会議所青年部 楽市運営委員会
委員長 小林 賢人 さん (中央)
副委員長 岩脇 遼 さん (右)
副委員長 松崎 まつさき さん (左)

「ぬくもりは、お手手から。」

(同)Natural work (Relax&School TETE) 代表社員 ^{たかはし}高橋 ^{ゆう}優



住 所: 加古川市加古川町木村715-1
T E L: 079-439-6061
営業内容: リラクゼーションサロン・
オーガニック製品販売・
セラピスト育成スクール

私がリラクゼーション業界に入ったのは19歳、大学生の頃でした。いろいろなアルバイトを経験する中で、「どうせ働くなら、技術が身につく仕事がしたい」と、とても軽い気持ちで飛び込んだ世界でした。

ところが、一人のお客様と60分、90分、ときには120分以上という時間を共に過ごすこの仕事の奥深さに惹かれていきました。施術終わりに表情がかわらぎ「ありがたい」と笑顔に向けてくださいます。そんなある日、一人の

お客様が私の両手をぎゅっと握り「お疲れ様！」と声をかけてくださいました。そのぬくもりに触れた瞬間、人に尽くすことが、自分の喜びになる仕事なのだと初めて知りました。

サラリーマン時代は、店長経験を経て、新店舗の立ち上げ、スタッフ教育など、多くの経験を積ませていただきました。体力と根性だけが取り柄だった私は、寝不足の日も体が痛い日も走り続けました。その7年半が、今の私の土台になっています。

27歳で独立すると、現実とは想像以上に厳しく、決断の連続で、すべてが自己責任。お金がなく、友人と会う電車賃にも困ったことがあります。その後にはコロナ禍も経験しました。それでも歩みを止めなかったのは「また来るね」と笑ってくださるお客様の存在があったからです。

一生忘れられないお客様がいます。一人暮らしをされていた50代の女性で、毎週2時間の施術を受けながら、ご家族のことや日々の出来事、心の内を話してくださいました。季節になると、大好きな果物を届けてくださることもありました。当時20代だった私を、実の娘のように可愛がってくださいました。その方は、今はもう天国にいらっしゃいます。私にとって、セラピストとしてだけでなく、一人の人間としての在り

方を教えてくださった第二の母です。今年42歳で初めてアジアマッサージチャンピオンシップに挑戦しましたが、結果は入賞には届きませんでしたが、それ以上に大きな学びがありました。世界で活躍するセラピストの技術はもちろん、手から伝わる思いやりや、癒したいというまっすぐな気持ちに触れ「技術や知識だけでは人は癒せない」と改めて感じました。



手から伝わる想いを世界に

店名の「TETE」は「お手手のぬくもり」が由来です。私たちが届けたのは、身体をほぐす時間だけではありません。疲れたときに思い出しているだけの場所、自分らしさを取り戻せる場所、そして「明日もまた頑張ろう」と思える時間です。

これからも、おてのぬくもりを通してお客様一人ひとりの健康と一緒に考え寄り添いながら、社会や環境に少しずつ恩返しができる活動をしていきたいと思っています。

未来の職業を考える高校生のための

「企業見学会」を実施!

2社に密着!

高校生を対象に加古川市域の地元企業を知ってもらうとともに職業観の育成、将来の進路選択・就職活動に役立てていただくことを目的として、2011年から毎年「企業見学会」事業を実施しています。

15回目となる今年は、8月3日から8月7日の日程で多種多様な企業を含む10コース20社を設定しました。延べ61名の高校生が参加し、企業の現場を見学しました。今回はハリマ化成(株) 加古川製造所と多木化学(株)に密着しました。

ハリマ化成(株) 加古川製造所

会社概要や製品説明の後、カートに乗車して製造所内を見学しました。プラントや世界の松、ロジンの歴史について学んだ後、マリーゴールド園を見学しました。その後、若手社員の方々と交流を通して、一日のスケジュールや仕事内容についてお話を伺いました。

参加者からは「ハリマ化成のロジンという製品は知らなかったけれど、身近にある様々な商品に使用されていると知り、驚きました。美味しい食堂があると聞いたので、進路を考える時の参考にしたいです」との声が聞かれました。



カートから製造所内を見学

多木化学(株)

会社概要の説明を受けた後、製品情報についてクイズ形式で学びました。続いて社屋の見学へ向かい、創業時の石臼や創業者の像などの歴史に触れ、柱のないフロア設計やフリーアドレス制について紹介がありました。最後の質疑応答では、質問に丁寧にお答えいただきました。

参加者からは「従業員の職場環境や衛生管理がとても整っていることが印象的でした。PACの説明を聞き、普段何気なく使っている綺麗な水は企業の努力で支えられていると分かり、印象に残りました」といった声が聞かれました。



創業者像の前で説明を聞く

**お世話になった企業の皆様、
ありがとうございました!**



PCの部品交換を体験!



実際の作業風景を見学

《見学コース・企業》 10コース・20社 (募集時)

コース	見学先【企業名】
A	日本郵便(株) 加古川郵便局 [郵便・貯金・保険業] 社会福祉連携推進法人 日の出医療福祉グループ [医療・介護・保育]
B	社会福祉法人TRUSTこころ [障害福祉] (株)マルアイ [総合食品スーパー]
C	(株)大浦ミート [食肉卸・小売業] (株)コスモライフ [飲料水・ウォーターサーバー製造]
D	滝川工業(株) [製造業] オークラ輸送機(株) [各種物流機器製造]
E	(有)岸本材木店 [木材販売・製材加工] (株)HER [理化学分析業]
F	ハリマ化成(株) 加古川製造所 [化学品製造] 多木化学(株) [化学メーカー]
G	(株)メイショク [食品製造業] 大西事務(株) [事務機器小売]
H	前川建設(株) [総合建設業] (株)コベルコロジスティクス [港湾運業・加古川製鉄所構内運送業]
I	社会福祉法人福竹会 鹿児の郷 [老人福祉・介護事業] 日本精化(株) [化粧品・医療品等原料メーカー]
J	ニシカワ食品(株) [製造業] (株)花浄院 [葬祭業]

※Bコース2社は参加希望者なし、見学取りやめとなった。

AIをうまく活用して

ー金融・不動産業部会を開催ー

7月14日、第240回例会として、(株)PropConSultingの作原英輔氏を講師に「AI×不動産ーAIネイティブ時代における不動産業界の展望ー」と題した講演会を開催しました。

不動産業界において日米を比較し、日本での住宅の取引は大半が新築であることに對して米国は大半が中古であることが述べられました。また日本の不動産ーITのサービス内容が広告中心であるのに對し、米国では内覧から購入までの取引プロセスをプラットフォーム化したものであると説明がありました。

続いて、今まで「その人の頭の中」にしかなかったベテランの経験値をデジタル化して蓄積することで、企業が生き残る時代へと変化していると解説がありました。AIは道具であり、使うのは意思を持った人間であることや、単純作業はAIに任せて価値創造を人間が担うべきであるとして締めくくりました。

参加者は26名

失敗をプラス材料に

ー時事文化講演会を開催ー

7月27日、シンガーの木山裕策氏を講師に「夢が自分を大きくする」と題した時事文化講演会を開催しました。



講演される木山氏

木山氏に甲狀腺がんが発覚したのは、忙しく働きながら4人の子育てに奮闘していた36歳の時でした。手術後に声が出せなくなる可能性があるのと医師から告げられ、「もし手術後に声が出せるのであれば、必ずもう一度歌おう」と長年の夢であった歌手への挑戦を決意しました。

講演では、過去の経験を糧に今の自分があることや、失敗をマイナスにとらえるのではなく、プラス材料として前向きにとらえ行動することが重要であると述べられました。併せて、様々な方々との出会いがあつて今の自分があると語りました。

講演後のミニコンサートでは代作曲である『home』をはじめ、心にしみる名曲を歌唱しました。

参加者は62名

経営者への第一歩

ーかこがわ創業塾2026を開催ー

7月4日・11日・25日・8月1日の全4回、全国各地で講演・セミナー・コンサルティング活動を行うグローバルマーケティング(株)の代表取締役 今井進太郎氏を中心とした講師陣によるかこがわ創業塾を開催しました。

独立開業を目指す方や創業して間もない方などを対象に、創業してから最初に取り組むべき売り上げを伸ばすための考え方やノウハウについて、座学やグループワークを用いて講座が行われました。



今井氏による講座

テーマは創業に必要な3つの力や生成AI×事業計画、人材育成と接客・接遇、今すぐできる0円集客術など幅広いものでした。併せて日本政策金融公庫の担当者より、創業時の資金調達についても説明がありました。

受講者からは「新ビジネスに對してさらに意欲がわいた」といった声が聞かれました。

受講者は33名

「小規模事業者持続化補助金」の採択結果が発表されました

【当所関係 採択者一覧表】

〈一般型 通常枠〉 第19回 4/30締切

事業所名	補助事業の事業名称
Feather	市場環境の急激な変化に対応するための一次会ニーズの獲得
(株)ロジステック	ドローン空撮×観光アプリ販路開拓事業
(株)ソプラ・クリエーション	Scan to Print 統合型3Dモデリングサービスの構築
(株)イッサエンジニアリング	天井クレーン導入による大型案件受注拡大事業

【お問い合わせ】加古川商工会議所 中小企業相談室 TEL 079-424-3355

女性だより

女性会

女性がさらに活躍する社会に

ー研修会を開催ー

7月14日、7月度事業として「みんなで学ぼうー女性活躍推進セミナーー経営戦略としての女性活躍推進ー」と題した研修会を開催し、男女共同参画センター主催のオンラインセミナーを受講しました。



セミナーを受講する参加者

女性の活躍は社会貢献や福利厚生だけではなく、組織の変化対応力を高める不可欠な経営戦略であると説明がありました。女性が活躍するためには、女性自身だけでなく男性や組織全体の意識改革が大切であることや、社員の意見を取り入れて働きやすい環境をつくること、組織の成長につながることを学びました。

併せて、県内の中小企業で初めてプラチナミモザ企業に認定された事業所の事例発表も行われました。今後とも会員の皆さまにご参加いただき、学び合える機会を大切にしていきたいと願っております。

参加者は16名

(理事 伊藤 美子)

青年部

自分を見つめ直す

ー7月例会を開催ー

7月15日、7月例会として「とのう時間ー意思決定を変える視点の力ー」を、加古川が誇る国宝・鶴林寺にて開催しました。歴史ある境内や国宝の見学、坐禅体験、そして吉田実盛住職による講話を通じて、参加者一人ひとりが自分自身と向き合う貴重な時間となりました。



住職との集合写真

日々の経営では、さまざまな意思決定が求められます。今回の例会では、非日常の空間で心を整え、自分の考え方や物事の見方を見つめ直すことで、新たな気づきや柔軟な思考を養うことができました。

講話後の質疑応答では、経営や人生について活発な質問が交わされ、住職のお話を通して、多くの参加者が新たな気づきや学びを得る機会となりました。今回の研鑽を今後の経営やYEG活動に生かし、それぞれの成長と地域の発展につなげてまいります。

参加者は52名

(研修委員長 田中 健司)

環境保全研究会

美しい地球を守る

ー環境講演会を開催ー

7月17日、お天気キャスターで気象予報士の依田司氏を講師に「異常気象と向き合うー身近で出来る災害対策ー」と題した環境講演会を開催しました。

今夏は太平洋赤道域の海水温が平年より高く、「スーパーエルニーニョ現象」となることが予想され、さらに強大化することで異常気象リスクが増大する恐れがあると説明がありました。考えうる日本への影響としては災害級猛暑や台風強大化などがあり、複合災害として考えられる渇水や農作物不作などが社会全体に深刻な影響を与える可能性があるとして解説しました。

また、防災で最も重要なこととして「命を守るために逃げるしかない!」と述べ、防災の心理学や正常性バイアス・同調性バイアスを用いて解説がありました。日ごろから気象情報をこまめに確認し、最悪の事態を「意識して」想像して、それを防ぐためにどう行動すべきかを考える必要があるとして締めくくりました。

参加者は77名

団体だより

異業種交流会

知財を経営に活かそう ―知的財産セミナーを開催―

7月21日、(一社)兵庫県発明協会 専務理事の井上二三夫氏を講師に「知的財産権を活用して事業成長を加速するために」と題した知的財産セミナーを開催しました。

知財が「ビジネスのルール」であり「ビジネスのツール」であるという二面性について、具体例を示しながら解説がありました。

また、特許を取れば売上が増えるのかといった問いに対し、特許を取っていれば売上のいい商品を取社に真似されないため、引き続き成長は継続させられるということから、売上を上げる第一手段ではないものの有用であることを述べました。

また、特許出願を検討する前段階として、第三者の特許に抵触していないことを確かめる必要がある、出願にはお金や労力もかかることから兵庫県知財総合支援窓口へ相談してほしいと説明がありました。

講演会終了後に懇親会を開催し、井上氏も含めて出席会員相互の親睦を深めました。

参加者は17名(懇親会は14名)

国道2号等整備促進協議会

地域と共にまちをつくる ―通常総会・講演会を開催―

7月24日、加古川市国道2号等整備促進協議会の令和8年度通常総会が開催されました。

役員の変更について報告の後、令和7年度事業報告・収支決算、令和8年度事業計画・収支予算について審議され、すべて原案通り承認されました。

総会終了後には、銚子電気鉄道(株) 代表取締役の竹本勝紀氏を講師に「絶対にあきらめないく地域と共に存続を目指す銚子電鉄の挑戦」と題し、地域と共に歩む経営の在り方について、まちづくり講演会を開催しました。

「崖っぷち」であった銚子電鉄の経営再建に自ら関わり、自虐的なネーミングを活かしたぬれ煎餅などの商品開発の取り組みを紹介しました。様々な逆境が訪れたことを明かし、突破口を探して行動し続けることがあきらめないことであると述べました。厳しい経営環境の中でも強い意志を持ち、地域と共に地方鉄道を守り続ける決意を語りました。

参加者は34名

各種検定試験のご案内

検定種目	施行級	回	試験日	申込期間	受験料
日商珠算 (そろばん)	1～3	238	10月25日(日)	[窓 口] 9月9日(水)～9月11日(金)まで	1級：2,800円 2級：2,000円 3級：1,800円
日商簿記	1～3	174	11月15日(日)	[ネット] 9月29日(火)～10月15日(木)まで [窓 口] 10月14日(水)～10月16日(金)まで	1級：8,800円 2級：5,500円 3級：3,300円

申込方法等、くわしくは **加古川商工会議所 振興課** (TEL 079-424-3355) まで

印刷物入札

当所より発注する印刷物に関し、競争見積を実施いたします。内容につきましては、前日にお問い合わせください。(当所会員限定)

●日時 9月24日(木)10時～

●場所 加古川商工会議所 3階事務所

●お問い合わせ 総務管理課
TEL 079-424-3355

会員情報に変更はありませんか

当広報誌を封入している袋の宛名ラベルをご覧ください。

現在、ご登録いただいている会員情報(事業所名・代表者名等)に変更はございませんか?

登録情報の変更、また電話番号等の登録情報のご確認につきましては、当所までご連絡ください。

●お問い合わせ 会員課
TEL 079-424-3355

会議所からのお知らせ

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構兵庫支部からのお知らせ

生涯現役社会ワークショップひょうご2026(参加費無料、要予約)

本ワークショップでは、「シニア活躍で会社経営を熱くする」をテーマに、シニア社員の力を引き出す取組や環境作りを武庫川女子大学 准教授 山下紗矢佳先生の基調講演や県下の事業所の取組事例を参考に学んでいきます。

■日時：2026年10月14日(水) 13:30～16:30

■会場：兵庫県中央労働センター 2階大ホール（神戸市中央区下山手通6-3-28）

■詳細・申込方法：QRコード先のチラシ裏面の申込書に記入の上、
FAXにてお申込みください。（定員90名、定員になり次第締切）



※詳細はチラシをご覧ください。

問合せ先：(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 兵庫支部 高齢・障害者業務課 TEL06-6431-8201

加古川市 行政経営課からのお知らせ

【加古川市】ネーミングライツパートナーを募集します

加古川市の施設などに企業名や商品ブランド名などを冠した愛称を付けたい団体を募集しています。

対 象 者 団体（法人格は必須ではありません）

申 込 期 間 10月16日(金)まで

問い合わせ先 加古川市行政経営課（TEL 427-9753）



※詳細は加古川市HPをご覧ください。

9月の会議所カレンダー

日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	火	会員事業所健康診断(加古川総合保健センター)	10	木	従業員を守るカスハラ対策セミナー
2	水	広報委員会	11	金	会員事業所健康診断(しろやま農業研修センター)
4	金	(無料)法律相談	15	火	(無料)金融相談(株日本政策金融公庫 姫路支店) 会員大交流会
7	月	会員事業所健康診断(加古川総合保健センター)	17	木	会員事業所健康診断(しろやま農業研修センター)
8	火	(無料)不動産相談 会員事業所健康診断(加古川総合保健センター)	18	金	(無料)法律相談

【個別経営相談会】1・2・3・8・9・10・15・16・17・29・30日

●「個別経営相談会」は事前予約が必要です。あらかじめご相談内容をお知らせください。(※)

●無料相談は、変更・中止となることがあります。お手数ですが、事前にお問合せください。

⇒日本政策金融公庫による「金融相談」は事前予約が必要です。(※)

⇒「不動産相談」は当面の間【完全予約制】の【電話相談のみ】となり、9月4日(金)までに予約が必要です。(☆)

《問合わせ・予約連絡先》※印：加古川商工会議所 電話079-424-3355

☆印：(一社)兵庫県宅地建物取引業協会 加古川支部 電話079-424-0832

商工かこがわ9月号

発 行

2026年9月1日

発行人

加古川商工会議所

〒675-0064

加古川市加古川町溝之口800

TEL (079)424-3355(代表)

FAX (079)424-7157

広報委員の“つぶやき”

今月も残暑はまだまだ厳しいですね。このような中でも、加古川では様々なイベントが開催されています。

暑さを忘れさせてくれる様な、熱い“フェス”に参加して、元気になるのはいかがでしょうか！！

「今月の“こんな日”」

●公衆電話の日（11日）

1900年のこの日、日本初の自動公衆電話が、東京の新橋駅と上野駅の駅構内に設置されました。

当時は「自動電話」と呼ばれていて、交換手を呼び出してから必要に応じて10銭または5銭硬貨を入れて相手に繋いでもらうものでした。